

生物科学専攻の3論文がトップジャーナルの表紙に

中野 明彦

(生物科学専攻 教授・植物学大講座長)

植物の生のメカニズムの分野の最高峰誌に The Plant Cell がある。インパクトファクター 9.293 を誇るその The Plant Cell の表紙を、理学部 2 号館・生物科学専攻の 3 研究室が、あいついで飾った。5 月号が平野研究室, 7 月号が塚谷研究室, そして 8 月号が福田研究室だ。しかも今年の注目論文の中でも特筆すべき論文として、同誌 HP 上に並ぶ 4 表紙のうち 3 つまでを占めた (図)。

これはわが生物科学専攻の植物科学が

世界のトップにあることを明示するものである。植物科学は、基礎科学としてはもちろん、地球規模の諸問題の解決にも、きわめて重要な学問である。今回の 3 論文は各研究室の特質を活かしており、今後の発展も大いに期待される。

中段の 4 個の表紙のうち一番右(5 月号, 平野研究室), 右から 3 番目(7 月号, 塚谷研究室), 一番左 (8 月号, 福田研究室) が本研究科の論文の表紙となる。



東京大学大学院理学系研究科・博士学位取得者一覧

(※) は原著が英文 (和訳した題名を掲載)

種別	専攻	申請者名	論文題目
<b>2010 年 9 月 27 日付学位授与者 (7 名)</b>			
課程	物理	平田 靖透	多層系高温超伝導体の面間ジョセフソン結合
課程	物理	Liu, LANG	軽いエキゾチック原子核の第一原理 MCSM 計算 (※)
課程	地惑	佐藤 太一	地球物理観測およびモデリングに基づく南西インド洋海嶺東経 35-40 度の断層活動とメルト供給量に関する研究 (※)
課程	化学	獅野 裕一	マトリックススパッタリング法による無機ナノ粒子の合成と光機能性材料への展開 (※)
課程	生化	杉江 淳	細胞接着因子 nephrin/NEPH1 ホモログの相互作用による神経回路形成におけるシナプス前後細胞間認識
課程	生科	伊藤 優	広域分布水生植物カワツルモ科カワツルモ属の系統と雑種・倍数体の起源に関する研究 (※)
課程	生科	芳賀 拓真	穿孔性二枚貝ニオガイ上科の系統進化と適応放散に関する研究 (※)

人事異動報告

異動年月日	所属	職名	氏名	異動事項	備考
2010.9.29	ビッグバン	客員准教授	MENEGHETTI MASSIMO	任期満了退職	
2010.9.30	生科	准教授	澤 新一郎	退職	熊本大学大学院自然科学研究科・教授へ
2010.9.30	化学	特任助教	坂本 良太	退職	助教へ
2010.9.30	物理	技術職員	藤代 知子	退職	
2010.10.1	物理	教授	五神 真	配置換	大学院工学系研究科・教授から
2010.10.1	物理	助教	伊部 昌宏	採用	
2010.10.1	化学	助教	坂本 良太	採用	特任助教から
2010.10.1	化学	特任助教	田中 秀美	任命	特任研究員から
2010.10.1	化学	特任助教	中井 克典	任命	特任研究員から
2010.10.1	ビッグバン	客員教授	STAROBINSKIY ALEXEY ALEXANDROVICH	採用	
2010.10.1	地惑	特任助教	OETTLT PASCAL JEAN ANDRE	採用	
2010.10.6	経理	研究支援・外部資金チーム係長	川合 哲史	退職 (逝去)	
2010.10.31	化学	特任助教	XU HUAILIANG	退職	
2010.10.31	化学	特任助教	岡本 敏宏	退職	

## 理学部ガイダンス@駒場

教務委員長 長谷川 修司 (物理学専攻 教授)

理学部って何をやっているところ？  
理学部に進学するとノーベル賞取れるの？  
理学部卒業して就職できるの？  
そもそも科学ってどこがおもしろいの？  
… 駒場の教養学部1年生がもつ素朴な疑問に答える「理学部ガイダンス@駒場」を下記の要領で今年も開催する。これ

は、毎年、教務委員会と広報委員会が協力して、来年の進学振り分けの参考にし  
てもらうため駒場で開催している。下記の5名の若手を招待し、今年もパネル  
ディスカッション「なぜ私は理学を選んだか」を行う。進学振り分けのさいに何を考えたのか、数年前に体験したばかり

の先輩たちからビビッドな体験談とアドバイスを聞けるはず。パネルディスカッションの後も、各学科の教務委員の先生方と理学部学生たちが、お茶とお菓子を囲んで駒場生の質問・相談に応じる。

**日時：** 2010年12月10日(金) 18:00～20:00

**場所：** 駒場キャンパス 数理学研究科棟 大講義室

**パネラー：** 宮和樹さん(生物情報科学科4年)、正田亜八香さん(物理学専攻修士1年)、  
中村淳路さん(地球惑星環境学専攻修士1年)、生井飛鳥さん(化学専攻博士1年)、  
東塚知己さん(地球惑星物理学専攻助教)

## あとがき

あと1か月で師走、平成22年も終わりに近づく。9月の猛暑、秋刀魚の不漁と高騰は嘘のようで、今ではめっきり涼しくなり、近所の魚屋では秋刀魚が1匹77円で売られていた。今月号の記事でもおわかりのように、本研究科の熱い活

躍は秋風を忘れさせる。特に、博士課程の2名の日本奨励賞の同時受賞は理学研究の明るい将来を確約している。しかし、理学のキーワードの「海洋酸性化」でも明らかのように、人類の産業活動により、海洋の生態系は刻々と変貌しつつ

ある。今回受賞した2人の若手研究者が中堅となり、大きな花を咲かせるであろう10～20年後にも安い秋刀魚が食べられることを祈る。

野崎 久義 (生物科学専攻 准教授)

第42巻4号

発行日：2010年11月20日

発行：東京大学大学院理学系研究科・理学部

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

編集：理学系研究科広報委員会所属 広報誌編集委員会 (e-mail: rigaku-news@adm.s.u-tokyo.ac.jp)

牧島 一夫 (物理学専攻) maxima@phys.s.u-tokyo.ac.jp

吉川 一郎 (地球惑星科学専攻) yoshikawa@eps.s.u-tokyo.ac.jp

野崎 久義 (生物科学専攻) nozaki@biol.s.u-tokyo.ac.jp

加納 英明 (化学専攻) hkano@chem.s.u-tokyo.ac.jp

斉藤 直樹 (総務チーム) saito.naoki@mail.u-tokyo.ac.jp

小野寺正明 (広報室) onodera.masaaki@mail.u-tokyo.ac.jp

広報・科学コミュニケーション：

横山 広美 yokoyama@sp.s.u-tokyo.ac.jp

HP担当：柴田 有 (情報システムチーム)

shibata.yuu@mail.u-tokyo.ac.jp

HP & ページデザイン：宇根 真 (情報システムチーム)

une.makoto@mail.u-tokyo.ac.jp

印刷：三鈴印刷株式会社